

事業所職員による放課後等デイサービスに対する評価及び意見

- ・ 放課後等デイサービスを利用する障害児に関わる職員 4名が回答
- ・ アンケート実施日 令和6年3月
- ・ 評価の方法(3択)「はい・どちらともいえない・いいえ」

チェック項目		評価と意見 及び 改善内容
環境・体制整備	1 職員の配置数は適切であるか	<p>はい 3名 どちらともいえない 1名</p> <p>・利用者2名に対し職員一人が担当している</p>
	2 事業所の設備等について、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	<p>はい 4名</p>
業務改善	3 業務改善のためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<p>はい 2名 どちらともいえない 2名</p> <p>・児童指導員と介護サービス職員が一同に集まる機会が無いので介護職員が参画することが難しいが、介護職員＋看護師のミーティングで報告したり意見を求めている ⇒ 放デイ担当者会議に、介護職員が参加し参画出来るようにします</p>
	4 保護者に向けて評価表を活用したりアンケート調査を実施するなどして、保護者の意向を把握し、業務改善に繋げているか	<p>はい 4名</p> <p>・アンケート調査は評価表作成時のみであるが、日頃から保護者と連絡を取り合い、その都度意向を確認している ⇒ 定期的に保護者の意向を把握するよう努めます</p>
	5 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<p>はい 4名</p> <p>・アンケート結果を担当者へ周知し、HP公開について知らせている</p>
	6 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<p>はい 1名 どちらともいえない 3名</p> <p>・研修の案内は周知されるが受講が難しい(1名) ・研修を受けていないが自身の資質向上のため自主的に研鑽している(1名) ⇒ 全員が受講することは難しいので、伝達講習にて研修の場を作ります</p>
適切な支援の提供	7 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画書を作成しているか	<p>はい 3名 どちらともいえない 1名</p> <p>・計画書は、サービス管理責任者と児童指導員が話し合い、放デイスタッフミーティングに提案し作成している ⇒ 相談支援事業所からの計画をもとに、放デイスタッフミーティングを開催しています</p>
	8 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<p>はい 3名 どちらともいえない 1名</p> <p>・担当が一人体制なので、開始前の打ち合わせはないが、記録による申し送りは出来ている ・自身が担当の日は、日々の記録を読み、別のスタッフに意見を求めるなどしている ⇒ 今後も打ち合わせに代わるものとして、記録を丁寧に残し情報共有します</p>
	9 定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<p>はい 3名 どちらともいえない 1名</p> <p>・更新時に合わせてスタッフミーティングを開くことにしている ・定期的に打ち合わせを行うことが難しいので、気付いたことがあれば情報交換を共有している ⇒ 児童専用の介護サービス日誌を効果的に使いながら、1年に最低3回の打ち合わせの場を設けます</p>

	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
	11	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか
関係機関や保護者との連携	12	障害者相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
	13	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか
	14	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか
	15	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか
	16	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか
	17	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか
	18	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか
	保護者への説明責任など	19
20		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか
21		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか
22		個人情報に十分注意しているか

はい 4名

・気になった点、出来たこと出来なかったこと等を細かく記録している
⇒ 打ち合わせに代わるものとして記録は重要なので、各スタッフが正確に記録し、互いに検証・改善を行っています

はい 2名

どちらともいえない 2名

・1年に一回モニタリング・計画の見直しを行っているが、短期的にモニタリングを行う必要がある ⇒ 計画的にモニタリングを行い保護者・子どもと話し合う時間を作ります

はい 3名

どちらともいえない 1名

・サービス担当者会議に参加していない(出席の依頼がない)
⇒ 担当者会議は相談支援員と電話による情報交換となっております、必要と感じた場合にはこちらから会議の開催を促します

はい 3名

どちらともいえない 1名

・送迎時のトラブルは無いが下校時間の変更が分かりにくい
⇒ 基本的には保護者から下校時間を知らせてもらっていますが、学校の行事予定表をもらったり、学校のHPで確認をしています

令和5年度 実績無し

令和5年度 実績無し

令和5年度 実績無し

はい 4名

・児童館やスポーツ公園へ行き、交流する機会を作っている
⇒ 利用する児童が少ないので、他の子ども達と交流する機会を作るようにしています。また障がいのない子ども達と交流できるよう支援をしています

はい 4名

・送迎時に子どもの様子を保護者に伝えるようにしている ・連絡帳やメールで情報交換、共有をしている

はい 4名

・運営規程や計画についてはサービス管理責任者が説明を行っている
⇒ 説明に対する評価を受けるために今後は担当者同席のもとで説明を行います

はい 4名

・日常的に電話やメール・LINEでいつでも相談を受けられるようにしている
⇒ 相談の内容を放デイスタッフ全員が共有し、内容に合わせて児童指導員またはサービス管理責任者が助言するなどの支援を行っています

はい 4名

・令和5年度は苦情無し ⇒ 苦情に対応する体制は整っています

はい 4名

	23	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
	24	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか
非常時等の対応	25	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか
	26	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
	27	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか
	28	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別計画に記載しているか
	29	食物アレルギーのある子どもについて、適切に対応がされているか
	30	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

はい 4名

どちらともいえない 4名

・コロナやインフルエンザ等の感染症対策により、地域交流を行うイベントを中止している ⇒ 以前行っていた夏祭りのような大規模なイベントではなく、小規模なイベントを少しずつ開催していきたいと考えています

はい 1名

どちらともいえない 3名

・それぞれのマニュアルは策定済み、または策定中
⇒ 策定したのから早急に、職員や保護者に周知していきます

はい 2名

どちらともいえない 2名

子どもや放デイスタッフが参加出来るよう、長期休み中で子どもが利用している介護サービス提供時間中に訓練を行います

はい 2名

どちらともいえない 2名

・虐待防止の研修は、サービス管理責任者のみが受講
⇒ 放デイスタッフ全員の受講が望ましいが、難しい場合には伝達講習を行うなどし、スタッフ全員で虐待防止に努めます

はい 2名

どちらともいえない 2名

・身体拘束をやむを得ず行うような対象の子どもがいない
⇒ 身体拘束等の適正化検討委員会を新設しました。現時点で対象はなくても、起こりうる場面を想定しつつ身体拘束について保護者に説明を行っています

はい 4名

アレルギー、カロリー制限等に対応した食事・おやつを提供しています。食札にアレルギーや嫌いな物、グラム数を食札に記し事故が起きないように工夫をしています

はい 1名

どちらともいえない 3名

・事例集はない ⇒ 介護サービスについてはミーティング時に事例を話し合う機会を設けています。放課後等デイサービスにおいても勉強会の機会を設けます

公表日 令和6年3月31日